

稲葉健二のコラム



市川市で大きな問題となった市長公用車の電気自動車は、昨年11月にリース契約を解除という結果で終結しました。その車は、市長が設立した会社にリース契約を付け替えて終わったと聞いています。全国的に話が広まったテスラ問題も終結いたしました。

その後問題となっているのが、新庁舎建設追加工事です。市役所を運営していく会議体はいろいろあります。行政経営会議、庁議、部長会議、市川市庁舎整備検討委員会等があります。新庁舎建設に対して、工事着手前から検討委員会で多く議論をされていました。今回の問題点は、この追加工事に対して、どの会議でも議論をされていないということです。会議で取り上げていれば議事録に残りますが、どの会議の議事録にも議題として載っていませんでした。市長と数名の幹部で決定して、担当部長が、他の部長たちに説明をして廻ったと議事録にありました。その後、市議会の代表者会議で説明をしたものです。この追加工事決定に対して、私達議員は決定のプロセスに必要性も含め議論参加ができませんでした。

せっかく新庁舎が完成したのに、完成検査を受けてから、1階の天井に穴をあけて、階段をつくるという工事が、どうしても必要なのか理解できません。本来は工事の変更をしたかったが、変更の承認を申請すると、その期間工事を止めなくてはならないので、一度作って完成したあとに、壊して階段をつくるというものです。市長の説明は、ワンストップサービスをするためには、1階と2階の職員が行き来しやすいことが必要。また、将来執務フロアを市民に開放して使う際に便利だとも説明しています。

将来の市役所は、ITが進み、市役所に行かなくても済む時代へと向かっていきます。また、人口減少が進んでいくことになれば、職員の数も減っていく時代へととなります。そうなれば、1階と2階を結ぶ階段を考えるより、その時代になった際に、使い勝手のよい、必要性を考えて改修すればよいと思います。市長は50年後の市川市を主張しますが、災害対策や福祉政策、子育て支援など、今やらなければならない施策をしっかりと進めることが重要であるとともに、行政も議会も同じ方向へ議論すべきであると感じています。49万人都市「市川市」は、多くの意見や声を聴きながら運営されていくものであります。そのために、議員は多くの市民の声を聴き、市政へと届けることが必要です。

ご意見・ご要望等お気軽にどうぞ！



市川市議会議員

稲葉健二の
ひと言メッセージ

新庁舎建設について

令和として初めての年明けを迎えました。今年も市川市のため、市民のため、地域のため頑張ってください。よろしくお願いいたします。

ご存じの通り市川市は今、新庁舎の建替えをしています。本庁舎の建替えに向けて、現在の仮本庁舎を建設して、そこに本庁舎機能を移して、旧本庁舎を解体して建設に入りました。新本庁舎が完成してすべての移転が終了すると、現在の仮本庁舎は、教育委員会や道路や土木系の部署が入る予定です。三年前に解体して、当初の予定では、今年の4月完成、5月に引越しをするものですが、解体後に、地下に処分が必要な埋蔵物が見つかり、3か月遅れて、今年の7月完成、8月供用開始と言う計画で進んでいました。

去年の6月の会派代表質問で、供用開始時期を確認した際に、予定通り7月完成と答弁を頂きました。また、8月6日に地元で工事説明会が開かれて、その際にも同様に7月完成と説明を受けました。

ところが、説明会から2週間も経たないうちに、急遽変更を決めたという説明がありました。庁舎が完成後に追加工事を行い、1階と2階の間に穴をあけて階段（らせん階段ではありません）をつくるというものでした。工期は5か月遅れ、来年の1月に供用を開始するというものでした。費用は、追加工事費に約9千万円、延期に伴う借借料、送迎バス等の費用に約6千万円、合計1億5千万円というものです。この追加工事の理由は、フロアの幅が長いので真中に階段をつくられた方が便利だということです。市長が提案するワンストップサービスを実現するためであると説明しています。

この提案は、いろいろ議論を経たものではなく、市長と幹部職員数名で決定して、担当部長に各部長に説明に廻らせたものでした。これだけ大きな事業の大きな変更を数名で決め、決定のみを報告するというプロセスは、ありえないことだと思います。1日も早く新本庁舎の完成を待っている方や、工事の迷惑を3年も受けている地元に対してもこの追加工事を認めることは考えられないと思っています。詳しい経緯は、コラムでも書きますが、市川市は一部の幹部のみで運営するものでなく、市民の声を聴いたり、議員と議論を重ねて決定していくものではないでしょうか。



建設中の新本庁舎2020.1月

No.56

令和2年1月20日発行
稲葉健二事務所
272-0021
市川市八幡2-2-10
TEL 047-333-1783
FAX 047-334-1990
URL www.inaba-kenji.jp
MAIL kenjiinaba@aol.com

稲葉健二議会質問

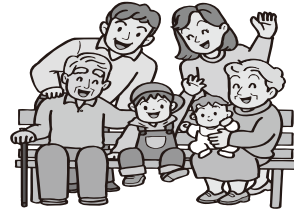
令和元年9月一般質問／令和元年12月一般質問

令和元年9月議会の質問要旨です。

市議会中継をPCやスマホでも見ることができます。
<https://www.youtube.com/watch?v=5FK1Mm58F7Y&list=PLJbQtwTsBjBUAZ4tBCyZL-ru9ZgdDAUH&index=30&t=0s>

稲葉健二の
2月議会中継の
QRコードです。
youtubeで見れます。

- 自治会について
 - (1) 現在の活動状況、課題について
 - (2) 加入率について
 - (3) 自治会を応援する条例の制定について
 - (4) 転入者への対応、協力について
 - (5) 災害時の役割について
 - (6) 小学校区防災拠点協議会との連携について



- 動物飼育について
 - (1) 動物飼育マナーの啓発について
 - (2) ペットのマイクロチップ装着助成について
 - (3) 飼い主のいない猫不妊等手術について



- 斎場、霊園について
 - (1) 現在の運営状況、課題について
 - (2) 市営霊園墓参者への支援について
 - (3) 合葬式墓地の今後の方向性について



- 新庁舎建設について
 - (1) 現在の進捗状況について
 - (2) 受動喫煙対応を含む考え方について
 - (3) 近隣への工事説明や要望に対する対応について
 - (4) ワンストップサービスの考え方について
 - (5) 新庁舎の供用開始が遅れた場合の影響について
 - (6) 今後の備品調達などのスケジュールについて
 - (7) 6月定例会から8月記者会見までの、追加工事に至る会議内容について
 - (8) 新庁舎周辺(葛飾八幡宮内)の計画について
 - (9) 追加工事に対する予算が認められない場合の対応について
 - (10) 今後議会に対するの行政の進み方について

まとめ

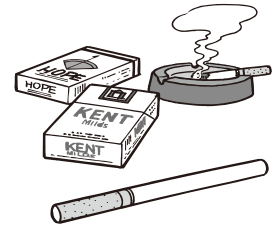
今回の質問は、自治会の活動を、市がどのように認め、協働で進めて行くことを明確に条例で制定して、活動や加入する際の応援ができるように提案しました。また、動物の飼育マナーを、今後どのように市が応援できるのか、災害時にペットが離れた際に飼い主の特定ができるマイクロチップの装着を応援できないか質問しました。加えて、市営霊園が広く坂も多いので、無料貸自転車だけでなく、お盆などの特定期間だけ園内を循環するバスを運行してもらえないか提案しました。新庁舎のことは、特集やコラムで書かせていただきました。

令和元年12月議会の質問要旨です。

市議会中継をPCやスマホでも見ることができます。
https://www.youtube.com/watch?v=FG5K6xh5Cro&list=PLJbQtwTsBjBjAgism4DCHaOIGbH5p_RAVG&index=30&t=0s

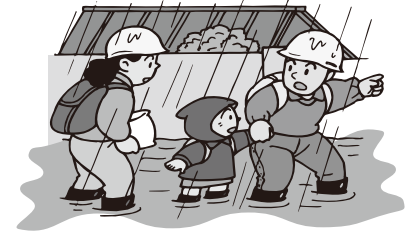
稲葉健二の
6月議会中継の
QRコードです。
youtubeで見れます。

- 市の公共施設、敷地の禁煙について(関係者)
 - (1) 現在の状況、課題について
 - (2) 市が考える今後の方向性
 - (3) 公園の禁煙について



- 他市への災害時、復興時の支援について(関係者)
 - (1) 市が考える災害時の対応、連携について
 - (2) 市が考える復興への支援について
 - (3) 市が購入している食材(特に給食に使う食材)、物品購入での復興支援の考え方
 - (4) 地産地消への基本的な考え方

- 新第1庁舎建設について(関係者)
 - (1) 工事内容の変更について
 - (2) 追加工事の必要性について
 - (3) ワンストップサービスの考え方について
 - (4) 市民が来所する用件の整理と対応
 - (5) フロアのレイアウトの考え方



まとめ

今回の質問は、健康増進法の改正に伴い、今年4月から、市川市も市の施設、敷地を全面禁煙となることの広報の考え方と、現在禁煙の対象外である公園の禁煙に対しての市の取り組みをお聞きしました。子ども達が遊んでいる児童遊園地での禁煙から進めていきたいと答弁を頂きました。喫煙されるかたの気持ちも理解できますが、子どもたちが遊んでいる公園で、受動喫煙を考えて我慢して頂くことにご協力をお願い致します。災害時の問題は、継続的に質問をしています。特に市川市は人口密度も高く、中央部は、避難場所も含めて課題も多いので、地域の自治会の皆さんの協力を中心に防災、減災に向けて提案をさせて頂いています。復興支援ですが、去年千葉県も台風で大きな被害を受けました。被害を受けた農家の方達が頑張っていくことを、市としても応援する必要があると提案しました。市川市の給食のお米は、復興支援として、他県産米を調達しています。その購入の切り替え時に、台風被害を受けた千葉県産米に切り替えることで復興を応援することを提案させて頂きました。また、復興支援の給食日や週間を設定して、子どもたちに給食を通じて教育ができるようお願いしました。新庁舎建設関連は、特集とコラムで書かせて頂きました。当初の予定通りの完成、開庁ができるように頑張りたいと思います。